

- (2) 各産地の記載のしかたは、市または郡の後に町名、村名、山名、溪谷名、湖沼名などのうち最も
 分りやすいものを1つあげた。自然保護の観点から、小字名まで詳しくあげることはさけた。
- (3) 全国的に有名な次の山、湖沼名は市、郡名を省略した。
 大滝根山、吾妻山、安達太良山、磐梯山、燧ヶ岳、尾瀬、飯豊山、雄国沼、猪苗代湖
- (4) ごく普通に産する種は1地域3ヶ所くらいにとどめ、分布限界種、日本海要素など稀産地および
 特殊な分布を示すものは、できるだけ多くの産地をあげた。
- 10 一度福島県から報告された種で、その後我々会員が確認できず、標本の所在がはっきりしないもの
 は目録の後に「目録より除外した種」としてまとめた。これらの種については今後の調査研究にまち
 たい。
- 11 引用標本の一部は東北大学理学部生物学教室植物標本室(TUS)および国立科学博物館(TNS)に
 納入されている。
- 12 本誌でとりあげた福島県産植物の種類数は下表の通りである。種類数は亜種、変種、品種、雑種も
 1種類として数えた。目録中、産地のコメントでふれた品種は下表の種類数に含まれていない。

	科	種類
コケ植物		
苔類	27	216
蘚類	50	530
シダ植物	19	205
種子植物		
裸子植物	5	32
被子植物		
単子葉植物	24	774
双子葉植物		
離弁花類	82	984
合弁花類	35	667
合 計	242 科	3408 種類